

大阪工業大学工学部 学生員 ○仲谷 宗諭
大阪工業大学工学部 学生員 齊藤 友宏
大阪工業大学工学部 正会員 岩崎 義一

1 目的と方法 都市に落書きが描かれるという問題は古くて新しい。落書きは街の景観を削ぐなど迷惑行為であり、許されるものではない。本調査では、落書きに法則性やパターン等諸特性がないかその実態を調査した。対象とした場所は堺市内の南海高野線、JR 阪和線、国道 310 号線、泉大津美原線（阪和道）とその周辺である（図 1、調査時期：2003.6、調査箇所：367 箇所）。

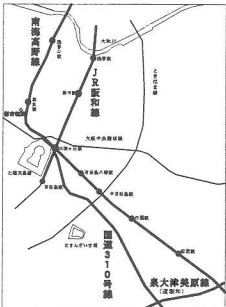


図1 調査対象地区

2 落書きの種類 ここでは、実際に観察した結果として、そのタイプをアート型、文字アート型、文字型、その他型（判読、評価が困難なもの）の4つに分類することとした（表－1）。さらに、落書きの場所等仕様として、道路や標識をはじめとする交通関連施設等施設の種類の6種類、ブロック壁等の描かれている媒体を7種類、使用している色数を3種類、交通路線の種類の3種類にそれぞれ分類した。そして、タイプと仕様についてクロス集計したものが表－2である。これによると、タイプではその他系が5割以上を占めており、殆ど芸術性等はないものとなっている。場所等の仕様をみると、施設では、交通関連施設や住宅及び工業施設に多く、媒体ではコンクリートに、色では単色、交通路線では鉄道沿線にある生活道路でそれぞれ多い。これらの落書は、殆どその他型及び文字アート型が中心となっている。このように、鉄道沿線の道路設置の交通関連施設や工場等のコンクリート壁等に単色で芸術性のない落書きが中心となっていることが分かる。

表1 落書タイプの設定

タイプ名	内容	写真例
アート型	絵画に近い落書き 人物や事物が対象となっている場合が多い あまり見かけない	
文字アート型	文字を大きく表現してアート化した落書き 多くみかける	
文字型	判読が容易な落書きである あまり見かけない	
その他型	上3つに属さない落書き 判読不可能な落書きがここに当たる 多くの場所でみかける	

3 落書きの分布特性 ここでは落書きの分布を施設の種別分布と落書きタイプの分布を見ることとした。まず、施設別のうち、交通関連施設への落書きを見ると、南海高野線の三国ヶ丘駅と中百舌鳥駅及び、JR 阪和線の浅香駅と三国ヶ丘駅間に多く分布しており、これは鉄道沿線の道路が殆どであった。道路における交通関連施設への落書きはあまりみられない。また、国道 310 号線と泉北高速鉄道や阪和道との交差点(立体交差)、さらには南海高野線とときはま線や阪和道との交差点(同上)において、橋脚部分などに落書きが集中している。次に、工業施設と住居施設の落書きを見ると、南海高野線の浅香山駅と堺東駅の間に工業施設を対象においての落書きが貼り付くように多く分布しており、三国ヶ丘駅と中百舌鳥駅の間では住居施設においての落書きが多く分布している。

表2 落書のタイプ別・場所別集計

項目	落書タイプ	アート型	文字アート型	文字型	その他型	計
施設の種別	各項目の種類	25	95	43	204	367
	交通関連施設	4	28	19	57	108
	工業施設	11	25	6	46	88
	住居施設	5	19	3	44	71
	公共施設	0	2	4	27	33
	商業施設	0	5	6	19	30
	他の施設	5	16	5	11	37
壁の媒体	コンクリート	8	38	15	36	97
	ブロック	8	26	8	41	83
	バラック	6	11	2	20	39
	鉄製の壁	1	10	6	16	33
	看板標識	0	2	8	14	24
	シャッター	2	5	0	11	18
	他の壁	0	3	4	66	73
色数	単色	11	43	41	201	296
	2色	5	37	2	3	47
	多色	9	15	0	0	24
交通路線	生活道路(注1)	19	62	19	108	208
	生活道路	4	23	16	64	107
	幹線道路	2	10	8	32	52

注1: 鉄道沿線にある道路を指す

こうした施設への偏りは各駅の区間に係る用途の建築物が集積していることによる。JR阪和線でも同様の後景が見られる。さらに、残りの施設への落書きを見ると、三国ヶ丘駅と中百舌鳥駅において公共施設や商業施設などへの落書きが集中して分布している。白鷺駅周辺のほか、上述の立体交差ではその他の施設の落書きが集中している。一方落書きタイプの分布図を見ると、上記の鉄道路線の住居施設、工業施設に多かった落書きはその他型が極めて多く、文字アート型も多くみられる。また、立体交差の場所では、アート型からその他型まで多様

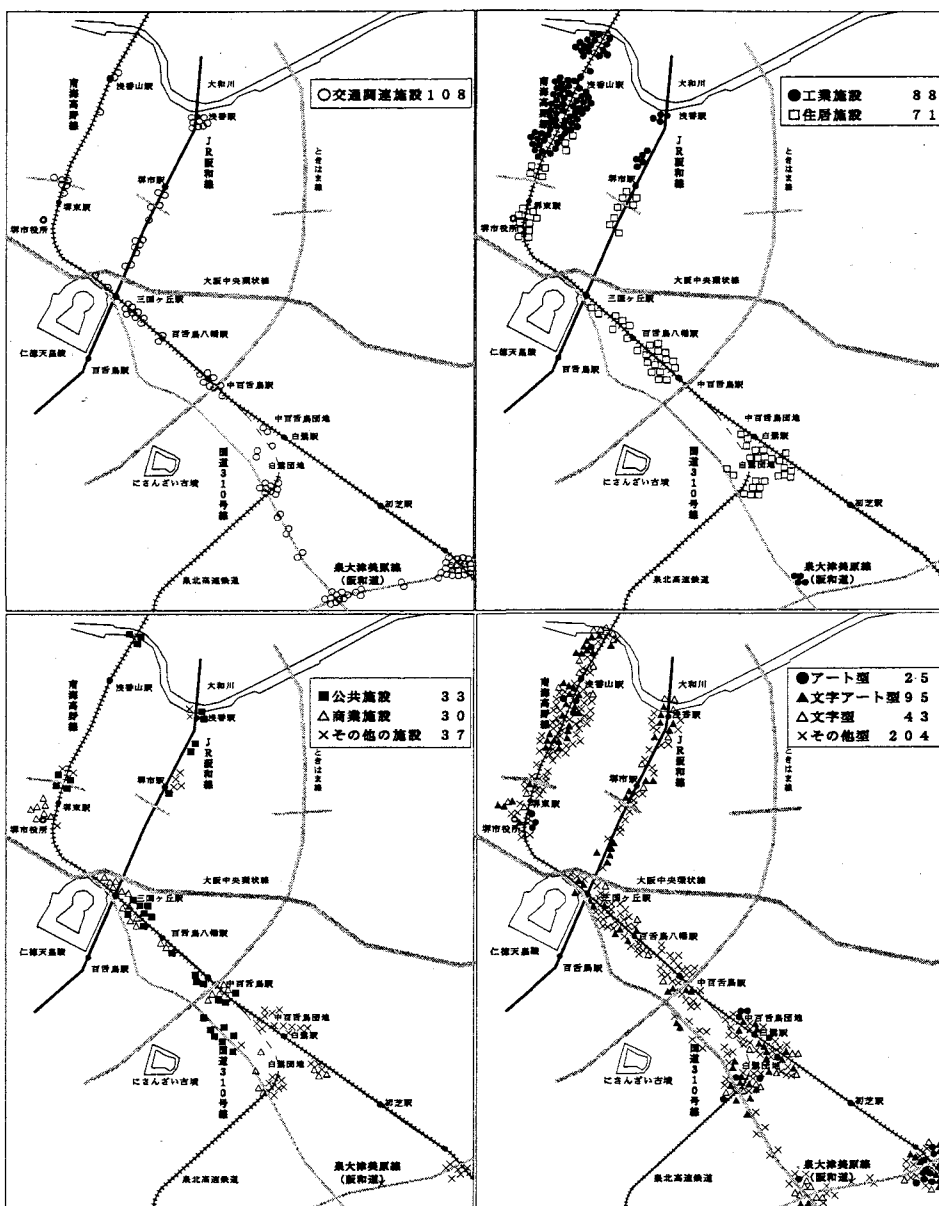


図3 落書き場所の分布

な落書きが集中している。以上の事から、落書きは特定の場所(いわゆる路線など)に集中し、存在する場所、存在しない場所に2極化していることや、立体交差において集中している落書きはアート型を含みながら多く集中し、その他の場所ではその他型の落書きが殆どである。芸術性のある落書きは、描く場所や大きさなどが多様に存在する立体交差で見られる。

4 まとめ 本研究により以下の点が明らかにした

- ①落書きは鉄道沿線の道路に貼り付く形で工業、住居施設などに帯状に分布する形と、立体交差に一点集中する落書きに大別される。
- ②道路では貼り付き型分布を呈する落書きはその他型いわゆるお粗末なものが多く、立体交差部分では若干ではあるがアート型という芸術性のものも見られる。